

令和8年度 9月第2回補正予算案の概要

令和8年8月19日
9月市長定例記者会見 資料

財政課 ☎ 21-8765



補正予算案の概要

会計別	既定予算額 (6月補正まで) (A)	9月補正予算額 (物価高騰対策) ※初日議決 (B)	9月第2回 補正予算額 (C)	9月補正後予算額 (A+B+C)
一般	1,071億3,560万7千円	7,942万3千円	2億9,569万7千円	1,075億1,072万7千円
特別	990億3,890万6千円	—	2,827万7千円	990億6,718万3千円
公営企業	362億5,700万円	—	1,500万円	362億7,200万円
合計	2,424億3,151万3千円	7,942万3千円	3億3,897万4千円	2,428億4,991万円

「聞こえる喜び」からつながる笑顔 高齢者の補聴器購入費用の一部を助成 60万円

高齢者の生活の質の向上、社会的孤立の抑制、認知症等発症リスクの低減を図るため、補聴器購入費用の**2分の1(上限6万円)**を助成します ※要件あり

【狭まる生活】諦めから始まる孤立



- 1 購入費用の高い壁(経済的断念)
高額な負担から、購入を諦めてしまう
- 2 会話のすれ違い(社会的孤立へ)
聞き返しの申し訳なさから、他者との交流を避ける
- 3 活動性の低下と健康リスクの増大
閉じこもりがちになり、認知症・フレイルのリスクが高まる



【広がる日常】「聞こえる喜び」からつながる笑顔



- 1 負担軽減で「最初の一步」を応援
助成金(最大6万円)により、早期の受診・購入を後押し
- 2 きこえの改善・会話が弾む日常へ
スムーズな会話が戻り、自分らしい笑顔を取り戻す
- 3 社会参加と健康寿命の延伸
外出の機会が増え、脳の活性化(認知症予防)に寄与

➤ 助成要件 (1は必須、2・3はどちらかを満たす必要あり)

1. 市(高齢福祉課)への事前相談(事前申請) 事前相談は完全予約制(10月9日(金)から電話による予約受付を開始予定)
2. 適合検査施設で検査・訓練を受け、「適合証明」を得て、認定補聴器専門店等で購入
3. 認定補聴器専門店で試聴・調整の上で購入し、補聴器相談医から「効果証明」を得る

対象
65歳以上

絶え間ない胸骨圧迫(心臓マッサージ)で救命を 自動胸骨圧迫器を全救急隊に配備

3,553万7千円

課題

心肺機能停止の傷病者に対して、狭い場所や救急車までの移動中に胸骨圧迫を続けられない

導入後

- 現場から病院まで、絶え間なく胸骨圧迫ができる
- 胸骨圧迫を自動化することで、薬剤投与などのより専門性の高い救命処置をいち早く始められる





生成AIシステムで業務効率化 1,500万円

電子カルテと一体化した生成AIシステムを導入し、業務効率化と患者サービスを向上

診療情報提供書や看護サマリ(要約)などの文書作成時間を短縮

課題

文書作成の業務負荷が高い

導入後

- ① 電子カルテの情報から生成AIが自動作成
- ② 確認・修正

効率化によって生まれた時間を
患者サービス向上へつなげる

利用シーン

医師

「診療情報提供書」「退院サマリ」の作成

看護師

看護記録の内容から「看護サマリ」の作成

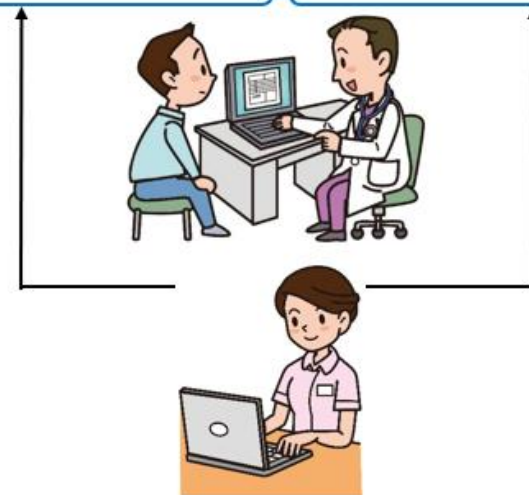
例 文書作成1件あたり

約30分～1時間 → 約15分～30分以下

半減以下となることを想定
(参考:当システム事業者での実証結果)

汎用的な文書生成機能

チャットボット検索



電子カルテの中で診療の流れを止めずに使える

○ その他、診療予約の変更に係る電話をAI自動応答システムで受け付けできるよう改善